

# 各地区のまちづくり協議会の状況(平成24年10月現在)

地区名	地区の概要 (平成24年4月1日現在)		まちづくり協議会の活動状況			特記事項
			組織運営	集落・各種団体支援策	情報発信	
荒川	人口 世帯 高齢化率 協議会数	10,840 3,585 27.93% 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>一般公募された27名が中心となり、各専門部に分かれ事業を推進中。</li> <li>運営委員会、理事会を経て、各部会の事業計画に基づき実施。</li> </ul> <p>◎特徴:若者の積極参加など積極的な住民参加による組織運営</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>育成部会で検討した「あらかわみらいファンド助成事業」により、地区内の地域づくり組織の事業支援を実施。今年度は、4組織から申請があり、公開でプレゼンテーション後に審査をし、助成を決定。現在、実施中。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援・情報部会において、HPを活用した情報発信の検討をするともに、組織独自の「あらかわ地区まちづくり広報誌」を8月1日に創刊し、現在、第2号を検討中。</li> </ul>	<p><b>一般公募者27名の状況</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度の計画策定プロジェクトメンバーから20名が一般公募者として参加</li> <li>公募者(27名)の内、20歳代が3名、女性の応募者も6名あった。</li> </ul> <p><b>事業部会で運動公園の利活用を検討</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地区の皆さんが参加し、アイデアを出しを行うワークショップを開催</li> <li>子どもから、年配の方まで多く参加</li> <li>新たな、つながりも見いだされている</li> </ul>
神林	人口 世帯 高齢化率 協議会数	9,639 2,867 31.14% 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>各組織では、各町内集落から選出された運営委員が中心となり、具体的な事業実施のための計画づくりを行い、事業を推進中。</li> <li>先進地視察研修を実施した協議会、今後実施予定協議会もある。</li> </ul> <p>◎特徴:当面は集落活動支援を重視</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各組織とも、昨年度に各集落事業を募集し、今年度事業に予算化。現在実施中。</li> <li>各協議会で大運動会、交流イベントなどを実施し、地域の融和を図る状況も窺える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各組織とも、2ヶ月に1回のペースで発行。</li> <li>HPを活用した情報発信も併せて行う。</li> </ul>	<p><b>主体性の芽生え</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な事業を実施したことにより、協議会運営委員に主体性が芽生えてきた。また、関係者が共に実施したことにより「達成感」が生まれてきた。</li> <li>地域の住民の皆さんが、自らの地域の課題が見えていない状況もある。取り組みを進めながら、気付きを求めていきたい。</li> </ul> <p><b>地域内の融和を深めるため集落支援を重点に進める</b></p>
村上	人口 世帯 高齢化率 協議会数	28,749 10,781 30.48% 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種団体、町内集落から参画するメンバーが核となる専門部会で、具体的な事業計画を検討。</li> <li>既存の分館事業を引き継いだ地域では、各専門部会で、事業検討実施する状況。</li> <li>新たな事業実施や既存の事業の拡充については、専門部会において具体的な事業を検討。</li> </ul> <p>◎特徴:分館事業を柱とした事業の拡充 ◎特徴:伝統文化の継承・環境保全や町内活動の支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各組織とも、町内集落の課題等に応じた事業実施や、町内集落の活動の起爆剤となる事業実施のための支援策を実施。</li> <li>各集落の独自の課題の応じた、津波避難路の整備や防災用品の整備などを進める地域もある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各組織とも、毎月定期的に発行している。</li> <li>HPを活用した情報発信も併せて行う。</li> </ul>	<p><b>具体的な取り組みにより、地域内の既存組織との連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域内で継承されてきた行事と連携した拡充策、既存イベントとの連携等を具体的に進めている。</li> </ul> <p><b>具体的な取り組みに向け、意向調査と既存事業との連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域内住民に対する意向調査などを実施し、各部会等で検討する事業計画への反映を進める状況も窺える。</li> <li>地域の四季の様子やイベント、普段の暮らしなどの写真を募集した「フォトコンテスト」を実施し、地域の文化祭で入選作等を発表。地域資源の発掘、見直しに繋がる取り組みを進める様子も窺える。</li> </ul>
朝日	人口 世帯 高齢化率 協議会数	10,757 3,147 32.84% 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>各町内集落から選出等によるメンバーで、各専門部会で具体的な事業を検討。</li> <li>関係団体等に計画事業に対する協力を依頼。</li> <li>役員会等において計画事業に関する確認、情報交換をする。</li> </ul> <p>◎特徴:女性の参加が多く、集落支援や地域全体の元気づくりを推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各組織において、5月初旬に各集落区長宛てに集落支援のための事業募集に関する通知を送付。ただし、現状、館腰地域まちづくり協議会では、集落支援事業の実施の予定はない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各組織において、総会終了後「たより」を発行している状況で、今後、複数回発行予定。</li> <li>HPを活用した情報発信も併せて行う。</li> </ul>	<p><b>様々な取り組みによるつながり</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各事業を進めることで、地域内や部会内での繋がりがや連携が図られている。</li> <li>集落間の垣根が低くなってきた。</li> </ul> <p><b>地域性を活かした様々な事業を実施</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域で産出する農産物を活かした軽トラ市の開催や、地域内の交流や融和を図るために収穫祭を開催する地域もある。</li> <li>地域の皆さん総出の大運動会と交流会を開催する地域、地域内の皆さんが参加した盆踊りなども行われている。</li> <li>まちあるきや郷土料理講習会などにより、地域の皆さんで地域の宝を再発見し、その後の具体的な取り組みに繋げる取り組みも行われている。</li> </ul>
山北	人口 世帯 高齢化率 協議会数	6,628 2,421 40.69% 1	<ul style="list-style-type: none"> <li>各集落選出、一般公募等による、委員により運営する組織を構成。</li> <li>役員会において、今年度の事業方針を確認し、集落支援、専門部会の持ち方、スケジュール等を確認。</li> <li>公募した委員56名により、将来像を見据えた具体的な事業計画の策定に取り組んでいる。</li> </ul> <p>◎特徴:集落および各種団体活動への支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各集落支援に関する事業について、各集落に対し、事業募集を実施。</li> <li>各種団体に対しても、活動支援事業に関する事業募集を実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>協議会の便りを年4回発行予定。</li> <li>HPを活用した情報発信も併せて行う。</li> </ul>	<p><b>策定員を組織し、専門部による具体的な事業計画を策定</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>5年後の将来を見定め、策定員による「山北地区まちづくり計画」を策定中</li> <li>各専門部では、具体的な事業計画を検討し、計画に盛り込む予定。</li> </ul> <p><b>集落支援による元気な集落の見だし</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>取り組みを進めることで、意欲のある新たな集落の見だしに繋がっている。</li> </ul>

## 【市の対応】

- ① **アドバイザーの設置**:各協議会や行政に対する助言をいただき、協議会等の円滑な活動推進を図るため、第1人者である 明治大学 教授:小田切徳美 氏をアドバイザーとして協力をいただく。
- ② **広報活動**:市報での特集号(8ページ)を3回(6/1、11/1、3/1予定)発行し、協議会間の情報の共有を図る。
- ③ **市民協働のまちづくり講演会の開催(予定)**:2~3月に協働のまちづくりの啓発を目的とした講演会を開催。
- ④ **市職員のスキルアップ**:協議会担当職員のスキルアップのため、ファシリテーター等の研修会に参加と全職員に対する啓発活動を継続する。
- ⑤ **交付金の充実**:協議会活動の活発化に対応するため、交付金の拡充策を検討する。